総務省自治大学校 Local Autonomy College

講義・演習概要（シラバス）

第１部課程第１２２期（平成 26 年 4 月 8 日～平成 26 年 9 月 5 日）

課　目　名	地方財政論
時　限　数	４時限
担 当 講 師	関西学院大学　大学院経済学研究科・人間福祉学部教授　小西 砂千夫 ＜プロフィール＞ 1960 年　大阪市の生まれ 1983 年　関西学院大学経済学部卒業 1997 年　博士（経済学） 助手、助教授などを経て 1998 年から教授 2008 年から現職
ね　ら　い	地方財政の実情は、マクロとしての地方財政計画と、地方交付税を通じたミクロとしての個別団体への保障という双方から眺める必要がある。 本講義では、地方財政計画の骨格と地方交付税のしくみを関連づけて説明することで、地方財政の構造を理解することをねらいとする。
講 義 概 要	地方財源の総額はどのように決定されるのか、その際にどのような考え方で地方財政計画が策定されているのか（マクロの観点）。また地方交付税制度を通じた各団体への財源の配分はどのような考え方に基づいているのか（ミクロの観点）。また地方債の償還財源は、マクロとミクロの精度の結果、どのように考えればよいのか。また自治体財政健全化法の考え方はなにか、また地方債の安全性はどのように担保されているのか。それらの制度が個々の自治体にとってどのような意味があるのかなどについて解説する。
受講上の注意	なし
使 用 教 材	拙著『地方財政のヒミツ』（ぎょうせい）を事前に読んでおくと理解が深まる
効 果 測 定	なし
そ　の　他 （他の課目との関連）	財政学